

# 平成25年度車いす対応車 (普通車) の整備に 関する報告書

作成：特定非営利活動法人：愛・LOVE・みらい

作成日：平成27年1月31日

## 1. 事業内容の概要

- 事業成果物：福祉車両（車種：日産（キャラバン））  
定員（車いす2台＋8名または車いす4台＋5名）
- 使用施設：みらいの翼（就労継続支援A型事業・就労移行支援事業）  
使用場所：茨城県古河市高野 1442-3

## 2. 本事業の目的

生きようとする思いや働こうとする思いを持ちながら、交通手段がないだけで就労に結びつかない障がいのある方の積極的雇用や日常活動における社会参加の機会増大に大きく繋がり、本施設のスローガンである、支援員も障がいのある方も“共に生きる”という考えの具現化に大きく貢献できる。

## 3. 整備された車両の主な使用実績

- ① 月曜日～土曜日の送迎サービス（朝と夕方の合計4便の送迎）
- ② 就業時のお弁当や農作物の納品
- ③ 月に一度の外出行事の移動（参考：図1）
- ④ 障がいのある方の健康と精神向上を目指した陸上部遠征（参考：図2）

## 4. 車両整備による効果

### ① 送迎サービスの広域化

具体例：新規エリアとして、古河市外の重症心身障がいの方への送迎サービスが新たに展開され、片道約20km/日の送迎サービスエリアが広域化されました。

### ② 納品の効率化

具体例：しいたけ栽培における菌床の引き取りや納品などの業務において職員の私用車を使うことがなくなり、職員の業務負担軽減に繋がりました。

### ③ 外出行事企画のボリュームアップと安全の向上

具体例：以前からなされていた外出行事に加え、新規の外出行事が企画されるようになりました。2014年の実績では、“小山へGO!!”（4月）やボーリング大会など、新たな企画が提案されるようになりました。

それに加え、毎年恒例の1泊2日旅行において、車両配備以前は車いすの方の参加をお断りさせていただいたり、バスへの移乗を行ったりしていましたが、車両整備を通して積極的な受け入れの体制強化と移乗におけるリスク低減に繋がりました。

### ④ 陸上部の活動範囲の広域化

具体例：2014年より創設された陸上部では、障がいのあるメンバーさんがフライングディスク（フリスビー競技）やマラソン活動を行っており、その大会への遠征に車いすのメンバーさんも積極的に参加できるようになりました。2014年実績では、「第18回全日本障害者フライングディスク競技大会@駒沢」や第「1回茨城県障害者フライングディスク競技大会@水戸」へ遠征致しました。

## 5. 今後の展望と課題

- ① 利用者の著しい増加への配車のやりくりの検討
- ② 埼玉県や栃木県など県外からの利用者様への送迎サービスの広域化に対する検討

### ● 参考資料



図1 みらい鴨川旅行にて車いす移動班と共に  
(平成26年8月23日撮影)



図2 第1回茨城県障害者フライングディスク競技大会の参加メンバー・家族と共に  
(平成26年8月24日撮影)